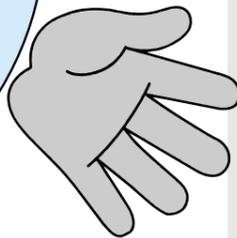


身も心もリフレッシュ



私たちのサークル・レクダンスは、健康維持のためのダンスサークルです。音楽に合わせて身体を動かし、身も心もリフレッシュしながら楽しい仲間づくりを目指しています。

千葉敏子先生の穏やかなお人柄がにじみ出るご指導の下、毎月第2・第4金曜日の午後1時30分から3時まで、あしたば白石で和気あいあいと楽しい時間を過ごしています。

ハワイアンのようなゆったりした曲から、テンポの速い曲、思わず笑ってしまうような面白い曲まで、無理なく楽しく、各自の体調に合わせて踊ります。ペアを組まないのが気楽に踊れますし、毎回説明があるので覚えて帰らなくても大丈夫です。服装は動きやすいものなら何でも結構です。

会員数13名、今年できたばかりの新しいサークルです。仲間を募っています。若い方から年配の方まで、ぜひ一度見学にいらしてください。
問あしたば白石 ☎25-5095

市民文芸 応募方法

一人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0257白石市字互理町37-3、白石市情報センターへ。短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

歌壇

高橋辰男選

お手玉やまりを作ればそれぞれの味面白く端布とあそぶ 阿部みさ子
台風にさわめく朝は栗の木の根方にはりつく 赤とんぼたち 高野 伝
働けるうちが花だと思いつつ老いたる母の車椅子押す 大庭 良子
四坪の八百屋に夫と働きて戦後を四人の子供育てし 石沢 敏子
逝く夏を惜しむか蝉のせわしく長月十日の午後を啼きつく 岡崎 澄子
在りし日に好んで着ませし亡き母の古き単衣も虫干ししたり 川村 静恵
畠仕事終りて帰るひとすじの道の彼方は夕焼けの空 石田みどり
かくれんぼする幼等は磨ガラスに身体映りて居場所知られる 古山 智子
台風一過の光まぶしき我が庭にブルーベリいはたわわに熟る 山田 濱
きのう迄元気に話したその友の悲しき知らせに胸が痛みぬ 佐藤 とく
評 一首目。端切れ利用の知恵が受け継がれていて、一片、一片の端切れの味わいと遊びどころが一致した楽しい歌。二首目。天変地異を事前に察知し難を避ける野生動物の不思議さ、赤とんぼらもそうなのだろう。三首目。前向き志向で老いた母に接している作者が、率直にかつ伸び伸びと表現された。

俳壇

遠藤秋尾選

熱き日は沈み蝸鳴く夕へ 日下 文
新涼や天守の窓の日本晴 岩澤 伍峯
秋立つや天まで届け呱呱の声 高子たちばな
城山は虫の浄土でありにけり 山家 弘子
とびとびに咲く夕管にひとり来る 佐藤 周子

柳壇

山田風流選

バス通る斎川宿の乱れ萩 制野 リエ
家移りの手伝い数多秋日和 高橋 正男
今朝の秋蛇口の水のふとめくし 川村 静恵
蝸や人懐き山道の 大庭 良子
水滴に顔のたれる稲穂かな 遠藤 忠臣
評 一首目。暑かった一日もヒグラシの声に暮れよととしている。ヒグラシは夕暮れになると天から降るように鳴くのである。やっと涼しさの戻った夕暮れの様子を「熱き日は沈み」と表現して佳句になった。二首目。秋の初めの涼しさを新涼という。お城の天守閣はことに涼しく日本晴れであった。三首目。お子様が生まれた元気な産声、秋の高い空へ届けよとばかりの力強い声である。この句には一門一家の喜びが込められている。おめでとうございます。

旅に出て気軽に赤を着て弾む 米沢 礼子
散骨をしてね骨つば狭すぎる 大庭 良子
一言が多いけれども友でいる 平間 大恵
病んでみて友達がいる有難さ 川村 静恵
天高く太めの影が気にかかる 四竈 英夫
年ごとに化粧に時間かかる妻 佐藤 武雄
ため息をついて夫婦の一致点 小野嘉津子
三猿になって生き抜く処世術 大沼 妙子
善人と言われて貸した金取れず 草野 清
ナツメロは古いのハートに灯を点す 阿部はぎの

不揃いが胸を張ってる朝市場 日下 猛
評 一首目。普段気兼ねする赤も旅先では大胆に。ルンルン気分。旅の女性心理を巧みに表現。二首目。透徹した死生観に裏打ちされた深みのある句。三首目。本当の友だからこそ忠告も諫言もしてくれる。ふた言くらい多くとも耳を傾けよう。今月は捨て難い句が多く、定員オーバー。柳壇は豊作でした。

私たちが応援しました 国体ボランテニア

白石市シルバー人材センター

高齢者の能力を生かした活力ある地域づくりに貢献している白石市シルバー人材センターでは、ボランテニア活動をセンターの事業のひとつに位置付けていることもあり、8月下旬から9月下旬にさまざまな活動を行いました。



東中学校での植木せん定作業

新体操競技会場のホワイトキューブや練習会場となった白石中学校、東中学校の植木のせん定や、山岳競技（縦走）のコースとなった農道赤銅線などの草刈りを実施。また、大会当日は賞状筆耕も行いました。

白石市建設職組合



歓迎のほりを設置する建設職組合の皆さん

市内の大工、左官、板金などの建設関係の皆さんで組織する白石市建設職組合は10月5日、歓迎のほり約300本をホワイトキューブから国道4号バイパスまでの沿道や白石蔵王駅周辺に設置しました。

また、宮城南部流域林業活性化センター仙南支部から提供いただいたスギの間伐材を利用して、木製ベンチを2基作成しました。このベンチは、キューブ正面入り口のわきの喫煙所に置かれています。

ジャロドの

国際コーナー

International Corner



皆さんこんにちは！秋になって涼しくなりましたね。先月、白石ではいろいろな国際交流イベントが行われました。

9月28日から10月5日まで、ハーストビル市から子供8人と引率者2人が来白しました。その間、子供たちは市内の家庭でホームステイをして交流を深めました。また、白石城をはじめ、うーめん工場やホワイト・キューブ、松島などを見学しました。それから、ホームステイ先の子供たちと一緒に中学校に通って、日本とオーストラリアの中学校の違いを発見したようです。

また、10月6日から9日まで、国際姉妹都市親善水泳大会に参加するため、オーストラリアのニューサウスウェルズ州から子供8人と引率者3人が来白しました。水泳大会は10月7日にスパッシュランドしるいしで行われ、3つの新記録が生まれました。この大会には、白石と姉妹都市である

登別市と海老名市も参加。国際姉妹都市交流を深めるための良い機会となりました。

この2つのイベントは毎年行われています。これとは逆に、毎年7月には白石市内の中学生8人と引率者2人がハーストビルに行っています。



(うーめん工場にて)